

”三田らしい”活力と交流のあるまち ～にぎわいづくり～

**17 観光・交流・文化の振興**

**1 10年後に目指したい将来像**

住む人が四季折々の三田の自然を愛し、地域の人々と文化の交流が新しいまちの魅力となり、心の豊かさを醸し出す文化芸術あふれる住みたいまちになっています。様々なまちの特色を生かして来訪者を呼び込む着地型観光は地域を盛り上げています。市民、来訪者が三田の豊かな里山で農業体験やアウトドアを楽しみ、歴史ある町並みで伝統芸能に触れることで、地域資源を生かした「観光・文化」は経済の循環によるまちの活力と豊かさを生み出しています。

| 2 10年後に避けたい三田の状況  | 3 10年後に目指したい三田の状況   | 取り組み |
|---|---|------|
| A 三田ならではの自然環境や、農畜産物・伝統文化などの地域資源が保存・継承されず、それぞれの地域資源が生かされていません。 | → 武庫川桜つつみ回廊や文化財など三田ならではの地域資源が保存継承され、地域の活性化や観光資源として積極的に活用されています。       | ②    |
| B 三田に魅力がなくなり、観光客や来訪者が三田を訪れる機会が少なくなっています。                      | → 地球アトリエなどの魅力あるコンテンツが、「芸術×アウトドア」などのかけ合わせによりルート化され、様々なツールで情報発信されています。  | ③④   |
| C 三田の観光・文化の魅力に気づかず、三田を十分に楽しみきれていません。                          | → 市民の文化活動が活発に行われ、市民が里山、食、文化、芸術、歴史などの三田ならではの魅力を発見・体験しその魅力を発信しています。     | ②⑥   |
| D 観光や文化に携わる事業者・団体・市民・行政などの相互連携が取れず、各主体間の交流ができていません。           | → 観光・文化を育む気風が多世代に伝わり、そこからアイデアや活力が生まれ、事業者・団体・市民・行政などの連携交流が進んでいます。      | ①    |
| E 高齢者・外国人・障害者などが、三田を訪れ、観光文化を楽しむことをあきらめています。                   | → 共生社会を実現した三田を訪れ、観光文化を楽しむことができます。市民・団体・事業者が一丸となりおもてなしの心で来訪者を受け入れています。 | ⑥    |
| F 文化芸術拠点である総合文化センター「郷の音ホール」の老朽化が進み、文化芸術活動が出来ず、まちが活性化されていません。  | → 文化拠点である総合文化センター「郷の音ホール」が適切に管理され、文化芸術活動が盛んに行われ市の魅力が発信されています。         | ⑤    |

**5 成果指標**

| 新規・継続 | 取り組み | 指標名                | 単位 | 指標の目指す方向性 | 累計・単年度 | 基準値(基準年)       | 目標値(R8)  | 指標の算出方法・算出根拠  |
|-------|------|--------------------|----|-----------|--------|----------------|----------|---|
| 継続    | ①～⑥  | 観光入込客数             | 人  | ↑         | 単年度    | 3,569千(R元年度)   | 3,900千   | 兵庫県観光客動態調査数値に三田市独自の調査数値を加えた年間観光入込客数 ※コロナ拡大の影響によりR元年度数値を使用 |
| 新     | ①～⑥  | 観光消費額              | 円  | ↑         | 単年度    | 24,594百万(R元年度) | 26,100百万 | 兵庫県観光関連産業総生産による。  |
| 新     | ②    | 文化財施設のプログラム参加者数    | 人  | ↑         | 単年度    | 4,717(R元年度)    | 5,000    | 年間事業報告より ※コロナ拡大の影響によりR元年度数値を使用                            |
| 新     | ④    | 三田市公式インスタグラムフォロワー数 | 件  | ↑         | 累計     | 2,248(R2年度)    | 5,500    | 三田市公式インスタグラム「さんだスマイル」のフォロワー数                              |
| 新     | ④    | ふるさと納税寄附件数         | 件  | ↑         | 単年度    | 5,265(R2年度)    | 6,000    | 三田市ふるさと納税年間寄附件数   |
| 新     | ⑥    | 総合文化センターでのイベント件数   | 件  | ↑         | 単年度    | 203(R元年度)      | 250      | 総合文化センターで開催されるイベント数 ※コロナ拡大の影響によりR元年度数値を使用                 |

◆主要な条例・規則◆

三田市総合文化センター条例、三田市文化財保護条例

◆関連計画◆

三田市文化芸術ビジョン、三田市総合文化センター新管理運営基本計画  
三田市観光ビジョン

**4 取り組み**

**市民**

- ◆三田の魅力に触れ、誇りを感じます。(イベントに参加します・特産品を買います・観光名所に行きます・伝統文化に触れます)
- ◆住民の視点で三田の魅力を発信します。(SNS等を利用し自ら発信します)
- ◆伝統文化などの地域資源を守り育てる担い手としての意識を持ち、継承や保護保存に積極的に関わります。
- ◆三田を訪れる方をおもてなしの心で迎え、交流します。
- ◆文化芸術活動の拠点施設として総合文化センターを積極的に利用し、市民文化を盛りあげます。

**事業者・団体等**

- ◆地域の特性を活かした特産品の発掘・開発を推進し、三田ブランドを確立します。
- ◆様々な人が気軽に三田を訪れ、楽しむことができる受入環境の整備を推進します。
- ◆多様なつながりを活用した創意工夫にあふれた事業の展開を行います。
- ◆三田市観光協会は運営の自主性を高め、観光まちづくりを実践するために、市民・行政・事業者などとの連携・協働の核となり、観光振興推進のための取組を先導します。
- ◆文化芸術団体は主体的に持続可能な運営を目指します。

**行政**

① 地域資源の保存継承

武庫川桜つつみ回廊や三田まつり、里山の農村文化、三田藩が伝えた幕末史の伝統文化を現在に保存・継承し、三田の四季を楽しむ地域資源を守り育てるため、市民や来訪者の参画を促し、持続可能な仕組みづくりを行います。

② 魅力あるコンテンツづくり

三田の魅力を体験プログラムとして磨きあげるなど、着地型観光の魅力を増やします。特に、一定期間において、おもちや箱のようなワクワクする魅力を発信、実施する仕組み(さんだのまちを遊ぶ博覧会)を活用して、事業者・団体・市民の新たな挑戦を支援します。

③ 情報発信と魅力向上

WEBやSNS等多様なツールとイベントなどの機会を活用し、必要とされる情報がわかりやすく届くよう、効果的でタイムリーな情報発信に取り組めます。ふるさと納税制度では、返礼品を拡充し、三田の食や伝統文化などの魅力発信と地域ブランドづくりを推進します。

④ 連携促進によるアクションプランの実践と支援

三田市観光協会などの関係団体とともに、事業者・団体・市民・行政などのネットワークの場を創出し、互いに連携・交流し、三田の魅力となる新たな企画(アクションプラン)を生み出します。

⑤ 誰もが楽しむ三田の観光・文化

高齢者・外国にルーツのある人・障害のある人など誰もが三田の観光・文化を楽しめる環境を整えます。そのために市民・団体・事業者が連携しおもてなしの心で来訪者を受け入れます。あわせて、大阪・関西万博を契機に、訪日外国人をも魅了する観光コンテンツづくり、多言語情報発信や受入体制の強化等、インバウンド対策にも取り組めます。

⑥ 文化芸術の拠点である総合文化センターの適切な運営と文化活動の支援

総合文化センターは、文化芸術の拠点として持続可能な運営を行います。日常においては市民がいきいきとした文化活動ができる体制づくりや市民の活動を支援します。また、創造性豊かな文化芸術活動の魅力を内外に発信し、三田ならではの文化拠点となることを目指します。